

# 第21号 すいかずら

JAPAN ASSOCIATION FOR  
HISTORICAL ART  
AND ARCHITECTURE  
(CONSERVATION OF CULTURAL ARTIFACTS)

平成24年3月30日発行  
編集：社寺建造物美術協議会  
発行人：荒木かおり

〒616-8242  
京都市右京区鳴滝本町69-2  
衛川面美術研究所内  
Tel:075-464-0725 Fax:075-464-0099

## 通常総会報告

平成23年10月14日（金）アークホテル仙台会議室にて平成23年度通常総会が開催されました。総会では7月に提案があった会則の改訂、そして9月に行われた臨時総会における新会長に荒木かおり氏の選出に伴う新体制の選出、今年度から施工段階となった建造物装飾模型製作研修の計画見直しが行われました。

### 会則の改訂

第5章 役員及び理事会

第15条

副会長

3名

←改訂

副会長

2名

### 新体制

会長（理事）

副会長（理事）

運営委員（理事）

監事

顧問

荒木 かおり

澤野 道玄

森本 安之助

片山 富夫

齋藤 敏彦

俣野 健司（会計）

大谷 秀一

横山 義雄

## 荒木新会長より

### 「社寺建造物美術協議会会長就任に際して」



さる平成23年9月17日臨時総会におきまして、原登前会長が体調を崩し、辞表を出されました事を受けて任期途中の役員改選が行われ、社寺建造物美術協議会会長の要職をつとめさせていただきますことになりました。

23年度事業の途中ではありますが、原前会長及び事務局を担当いただきました小西美術工藝社の組み立てられました方針を踏襲し、会運営を継承していく所存でございます。

社寺建造物美術協議会は平成2年11月に設立され、この「すいかずら」は平成7年創刊し今回で21号となります。

先達がこの会を立ち上げ、建造物装飾という地味な部門に光を当てる筋道を作ってくださいました。又、平成19年には選定保存技術保持団体と認定されその知名度は飛躍的に向上しました。

しかしながら文化財保存事業を取り巻く経済環境は、厳しい状態が続いております。

社美協会員として父、私2代にわたり関わらせていただいた者として、先達の開かれました道をより強固なものにし、会員の皆様と共に次の有益なるステップを模索し踏み出したいと考えております。

浅学菲才の身ではありますが、できる限り精進してまいる所存でございます。

皆様の御指導、お力添えを賜りますよう心よりお願い申し上げます。



## ● 平成 23 年度 年間事業報告 ●

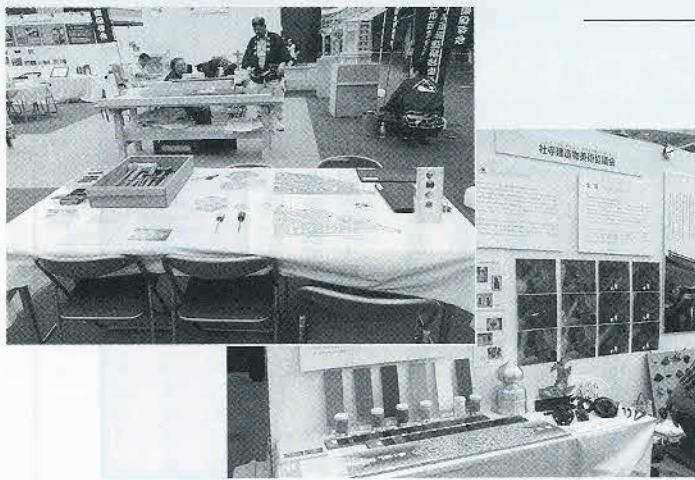
平成23年	活動 (●は国庫補助事業)	場 所
4月25日	第1回通常総会	於 名古屋マリオットアソシアホテル
5月21日	日本文化財漆協会 総会 参加	於 東京藝術大学
7月4日	第1回理事会	於 ルビノ京都堀川
7月25日	京都府文化財所有者等連絡協議会 総会 出席	於 京都府 清水寺
8月1日～8月11日	●後継者養成実技研修	(株)はせがわ美術工芸:京都伝統工芸大学校
8月1日～8月26日	●後継者養成実技研修	(株)片山:京都伝統工芸大学校
同上	●丹塗技術研修会	於 京都府 大原野神社
8月18日～8月31日	●後継者養成実技研修	(株)さわの道玄:京都伝統工芸大学校
8月29日～9月1日	●建造物装飾模型製作研修―漆Ⅰ期―	於 静岡県 日本建築専門学校、浅間大社富士山本宮
9月17日	第2回理事会、臨時総会	於 (株)小西美術工芸社 京都支社
10月1日	全国文化財保存技術連合会 総会 出席	於 NHK名古屋放送センタービル
10月1日～10月2日	文化財保存技術2011～文化財を支える「伝統の名匠」～ 展示	於 愛知県 オアシス21
10月14日～10月15日	●会員研修会	於 宮城県 大崎八幡宮、瑞巖寺
10月14日	第2回通常総会	於 アークホテル仙台
10月20日～10月21日	●建造物装飾修理用資材検討調査研修会	於 岩手県 天台寺、浄法寺歴史民俗資料館、 (有)齋藤漆工芸 日本産漆研究林、日本文化財漆協会、 日本うるし掻き技術保存会
11月5日～11月6日	ふるさと文化財の森 『文化財建造物保存活用公開セミナー』 展示	於 清水寺、京都市文化財建造物保存技術センター
11月18日	国宝修理装潢師連盟 定期研修会 参加	於 京都テルサ
11月25日	京都府文化財所有者等連絡協議会研修会 参加	於 京都府 伏見稲荷大社
11月28日～12月2日	●建造物装飾模型製作研修―漆Ⅱ期―	於 静岡県 日本建築専門学校
11月29日～12月3日	●建造物装飾模型製作研修―彩色―	於 静岡県 日本建築専門学校
12月 2日	第3回理事会	於 静岡県 日本建築専門学校
平成24年		
2月6日～2月7日	●金工技術研修会	於 京都府 松尾大社、(株)森本鋳金具製作所
3月9日	伝統技術保存団体連絡協議会 出席	於 ルビノ京都堀川
3月23日	第4回理事会	於 ハートピア京都



# 文化財を支える 「伝統の名匠」

期 間  
平成23年10月1日・2日  
場 所  
愛知県名古屋市 オアシス21  
内 容  
展示、金工技術体験コーナー

「伝統の名匠」展は、全国の保存技術団体が一堂に集結し、国内における文化財の修理や材料、道具などに関する現状を関係者、また一般の方々にも広く知っていただくという趣旨で毎年文化庁の主催で実施されています。平成23年度は名古屋栄駅に直結した「オアシス21」という半オープンスペースの複合施設を会場に、協議会の解説、



金具を中心に据えた各部門の説明をパネルや手板、実物の展示、そして舞台を構えての実演を通して紹介しました。また体験コーナーではストラップヘッドづくりを通して、金具の鑿打ちを体験いただきました。

# 文化財建造物保存活用公開セミナー

期 間..平成23年11月5日・6日  
場 所..清水寺境内、京都市文化財建造物保存技術センター  
内 容..展示、金箔押し・絵馬彩色の体験コーナー

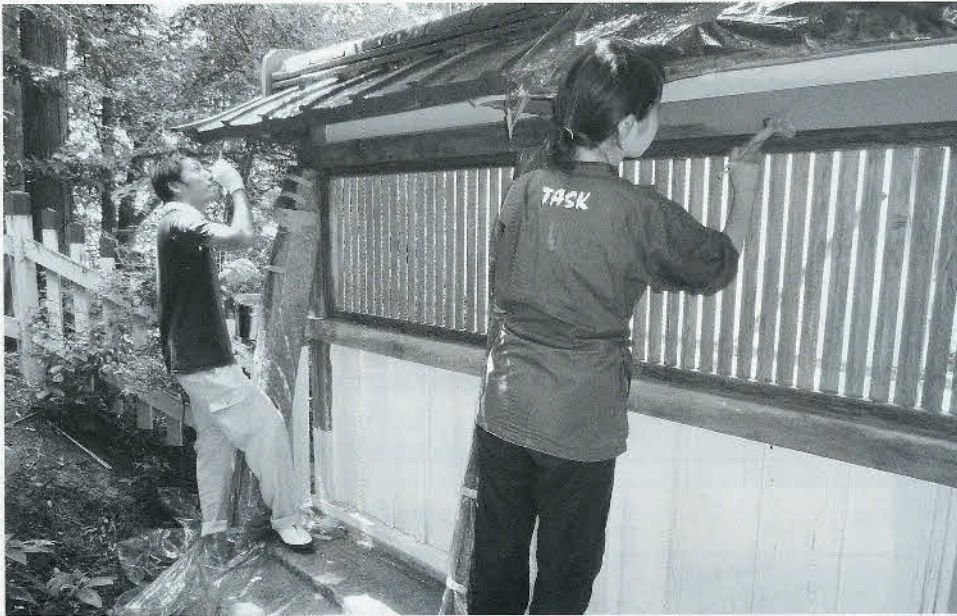
文化財建造物保存技術センターでは、パネルによる解説や模型・手板、材料・道具を展示し、伝統的な建造物の装飾（丹塗、漆塗、彩色）の仕事を紹介しました。また清水寺境内では、<sup>うんげん</sup>纏緞彩色を施した手板・清水寺三重塔の文様例パネルを展示した他、体験コーナーを設け、第1日目は金箔押し、第2日目は絵馬彩色を一般参加者に体験していただき、文化財建造物装飾の仕事の一端を感じていただきました。





## 丹塗技術研修会

期 間…平成23年8月1日～5日、8月22日～26日  
 場 所…大原野神社(京都市西京区)  
 参加事業所…(株)片山、(株)小西美術工芸社、(株)さわの道玄



実技講師に(株)片山より片山龍馬氏を迎え、大原野神社の塗装を行いました。  
 現場養生から掻き落とし・丹塗りまでを行い、現場での研修を通して伝統技法の丹塗技術を学びました。

## 建造物装飾修理用 資材検討調査研修会

「日本産漆研修  
 (岩手県二戸市浄法寺町)」検討会

今年度は「漆」に焦点を当て、岩手県二戸市浄法寺町にて研修を行いました。

日本文化財漆協会・漆掻き保存会を訪問し、漆くろめの見学をさせていただきました。また、岩手県二戸市うるし振興室 室長の中村裕氏にご講演を頂戴しました。実技研修は、(有)齋藤漆工芸 日本産漆研究林にて漆掻き体験を行いました。研修生達も毎日使用する漆が人々の努力の賜物である事を感じたようです。今後、素材(漆)の扱いをより慎重に、かつ丁寧な仕事を心がけることに繋がることを期待したいです。



場 期

期 間…平成23年10月20日・21日  
 所…八葉山 天台寺、浄法寺文化交流センター、浄法寺歴史民俗資料館、(有)齋藤漆工芸 日本産漆研究林、日本文化財漆協会、日本うるし掻き技術保存会  
 参加事業所…(有)齋藤漆工芸、(株)さわの道玄、(財)塩尻・木曾地域地場産業振興センター、(株)はせがわ美術工芸





# 会員研修会

期 間：平成23年10月14日・15日  
 場 所：大崎八幡宮(仙台市) 瑞巖寺(宮城郡松島)  
 参加事業所：(株)片山、(有)川面美術研究所、(有)齋藤漆工芸、(株)さわの道玄、  
 (財)塩尻・木曾地域地場産業振興センター、(株)はせがわ美術工芸  
 邑田漆芸(株)、(株)森本鋳金具製作所



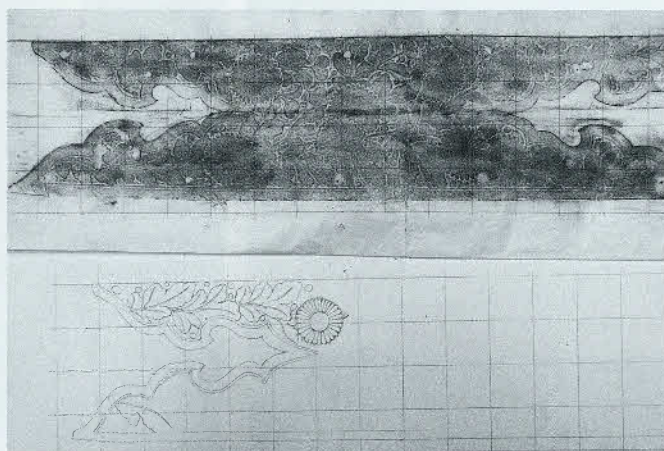
今年度の会員研修会では、東北支援の意味も込め「宮城県の社寺を巡る」と題し、宮城県内の代表的な社殿を廻りました。大崎八幡宮では(公財)文化財建造物保存技

術協会の武藤正幸氏により社殿の歴史、建物の様式などに見られる時代判定のポイント、また平成9年〜16年の修理工事の概要をご説明頂きました。2日目に訪れた瑞巖寺は研修時、修理工事中でしたが、(公財)文化財建造物保存技術協会瑞巖寺設計監理事務所所長の酒卷仁一氏より、本堂内を見学させて頂き、保存修理工事のご説明を頂いた。会員からは彩色痕跡や漆痕跡の質問等、活発に意見が飛び交い非常に貴重な体験となりました。

# 金工技術研修会

期 間：平成24年2月6日・7日  
 場 所：松尾大社(京都市西京区)、(株)森本鋳金具製作所  
 参加事業所：(株)大谷相模掾鑄造所、(株)さわの道玄

松尾大社本殿を視察、また金具の拓本実技研修をさせて頂き、(社)全国重要文化財所有者連盟より後藤佐雅夫先生を招いて「神社歴史と松尾大社の意匠」講義を頂戴しました。研修2日目は(株)森本鋳金具製作所に古金具の洗い・拓本・作図実習を行いました。





# 建造物装飾模型製作研修

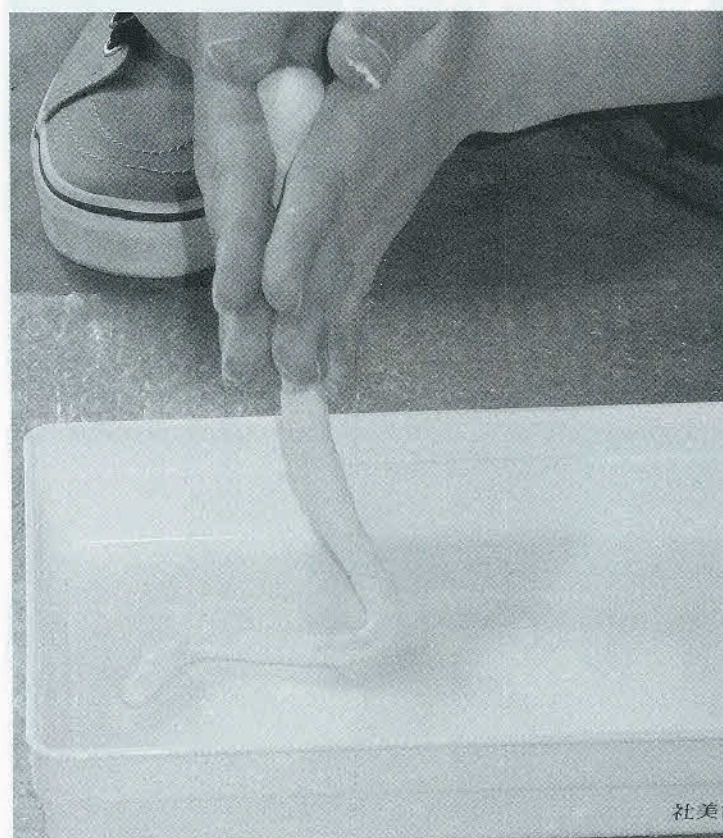
期 間：平成23年8月29日～9月1日、11月28日～12月2日、11月29日～12月3日

場 所：日本建築専門学校（静岡県富士宮市）

参加事業所：(有)川面美術研究所、(株)小西美術工藝社、(有)齋藤漆工芸、(株)さわの道玄、(財)塩尻・木曾地域地場産業振興センター



建造物装飾模型製作研修は、22年度から26年度の5年間で、漆・彩色・丹塗・金具の4部門で1つの模型を完成させます。各部門の技術を集大成した模型製作を通して、技術者の技術の継承と練磨を目指すと共に、製作後には模型を展示することで、業界の社会への認知度向上を目指します。施工段階に入った今年度は漆研修2回と彩色研修1回が行われ、また8月研修では、建築装飾技術史研究所所長の窪寺茂氏を招いて講義を、11月研修では監修も頂きました。



社美術





## 研修事業参加者人数集計結果

法人名	年度	19	20	21	22	23	合計
(株)大谷相模掾鋳造所		2	0	0	1	1	4
(株)片山		1	2	4	4	3	14
(有)川面美術研究所		4	9	10	3	3	29
岸野美術漆工業(株)		0	0	0	0	0	0
(株)小西美術工藝社		5	5	7	10	3	30
(有)齋藤漆工芸		2	2	2	4	5	15
(株)さかい		3	1	1	0	0	5
(株)さわの道玄		8	6	10	11	9	44
(財)塩尻木曾地域地場産業振興センター		7	2	2	2	4	17
(株)はせがわ美術工芸		2	2	2	1	4	11
(株)細川社寺巧芸社		0	0	0	0	0	0
邑田漆芸(株)		1	2	3	3	1	10
(株)森本鋳金具製作所		2	1	2	1	2	8
(有)横山金具工房		2	0	0	0	0	2
						延べ	189

## 平成24年度社寺建造物装飾技術者研修事業計画（国庫補助事業）

### 伝承者の養成

#### 1、建造物装飾修理用資材検討調査研修会

◇研修期間 平成24年10月（予定）

◇研修内容 中級・上級技術者を対象とし、漆や膠、地金などの建造物装飾修理に欠かせない材料について、各部門ごとに講師を招き、その現状や問題点を検討し、改善策を立て、今後の修理に生かす。

#### 2、会員研修会

◇研修期間 平成24年10月18日～10月19日（予定）

◇研修内容 古社寺を訪ね、伝統建造物に於ける装飾分野の研鑽を深め、日本文化への更なる広い視野を持った人材を養成する。

#### 3、後継者養成実技研修会

◇研修期間 平成24年7月～平成25年2月（この間の10日間程度で実施）

◇研修内容 各種美術工芸教育機関と連携し、文化財建造物装飾に関心のある後継者を会員各事業所にて受け入れ、仕事の実際を体験してもらうことで、将来の後継者養成に繋げる。

### 技術技能の練磨

#### 4、固有技術向上研修会

○建造物装飾模型製作研修

◇研修期間 <漆研修> 平成24年5月（第Ⅰ期）（予定）

〃 6月（第Ⅱ期）（予定）

〃 7月（第Ⅲ、Ⅳ期）（予定）

<彩色研修> 平成24年11月（第Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ期）（予定）

◇研修内容 伝統建造物の模型を作成し、漆・彩色・金工・単色塗、各部門の装飾施工を行う。

各部門、一つの模型を作成することで、技術者の技術・技能の練磨を目指すと同時に、研修生が原図から製作し、建造物装飾技術の研究を行う。

製作後の模型は展示会や公共施設等で展示し、建造物装飾の技術や文化建造物保存への理解を広く世に伝える。

### 記録の作成及び刊行

報告書と会報による研修事業の成果報告を行う。また、建造物装飾模型製作研修の実技研修開始にあたり、装飾技術の会員間での情報共有と伝播・継承を目的とし研修内容を映像記録に残す。



# 社寺建造物美術協議会 名簿

平成 24 年 3 月

No.	企業名	氏名	所在地	電話番号 FAX 番号
1	株式会社大谷相模鑄造所	大谷哲秀 (大谷秀一)	537-0011 大阪市東成区東今里 2-6-20	06-6971-6571 06-6971-6511
2	株式会社片山	片山富夫	601-8303 京都市南区吉祥院向田東町 10	075-322-1236 075-316-6333
3	南川面美術研究所	荒木かおり	616-8242 京都市右京区鳴滝本町 69-2	075-464-0725 075-464-0099
4	岸野美術漆工業株式会社	岸野 勲	321-1404 栃木県日光市御幸町 587-2	0288-53-3366 0288-54-0072
5	株式会社小西美術工藝社	デービッド・アトキンソン	108-0014 東京都港区芝 4-4-5 三田KMビル 3 階	03-5765-1481 03-3455-9250
6	南齋藤漆工藝	齋藤敏彦	250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原 1285-381	0460-84-2802 0460-84-0770
7	株式会社さかい	酒井清裕	520-2331 滋賀県野洲市小篠原 7-1	0775-87-1178 0775-87-5355
8	株式会社さわの道玄	澤野道玄	604-8232 京都市中京区錦小路通油小路東入る空也町 491	075-254-3885 075-254-3886
9	財塩尻木曾地域 地場産業センター	小口利幸	399-6302 長野県塩尻市木曾平沢 2272-7	0264-34-3888 0264-34-2832
10	株式会社はせがわ美術工藝	井上貢治	822-0011 福岡県直方市大字中泉今林 885-26	0949-24-7211 0949-24-7221
11	株式会社細川社寺巧藝社	細川夫美子	651-2242 兵庫県神戸市西区井吹台東町 1-5-13-301	078-997-7178 078-997-7179
12	邑田漆芸株式会社	邑田正廣	607-8355 京都市山科区西野大鳥井町 118-45	075-591-4137 075-502-0638
13	株式会社森本鋳金具製作所	森本安之助	600-8321 京都市下京区楊梅通西洞院東入る八百屋町 59	075-351-3772 075-361-8877
14	南横山金具工房	横山智明 (横山義雄)	601-8394 京都市南区吉祥院中河原里北町 14-3	075-325-4861 075-325-4862



## 賛助会員紹介

### ナカガワ胡粉絵具株式会社

(京都・宇治)

当社は、明治30年に現社長の曾祖父が宇治菟道の地において、江戸中期から続く胡粉作りの工場を引き継いだのが創業です。

その原料には、最上の胡粉が出来る天然イタボ牡蛎の貝殻を使用し、天日に晒すこと20年余り、その後湿式石臼粉碎・水簸精製・天日乾燥を経て最高の水飛胡粉に仕上げられています。

また、この胡粉製造で培った技術と伝統を生かし、半世紀以上にわたり日本画岩絵具専門メーカーとして、数多くの皆様方にご愛用、ご支援を受け賜わり、発展してまいりました。

この間、研究・開発に努力を重ね、飛

会員が顔料等の納入でお世話になって  
いるナカガワ胡粉さんを紹介致します。

躍的な色数の増加をはかり、今日までに天然岩絵具約40種類、新岩絵具約80種類の色鮮やかな岩絵具を生産し、「近代日本画の発展普及」に微力ながら貢献できたものと自負しております。また工程、設備の合理化・自動化に取り組みとともに、色調・粒子の研究も積極的にを行い、徹底した品質管理のもと、安定した製品供給ができる体制を確立しています。

一方大学等、研究機関との連携を密接

に図りながら、環境に優しい絵具の開発を続けています。また耐光性が高く環境に優しい顔料を、社寺の建造物彩色で使われる鉛丹や水銀朱に色調を合わせ、文化財修復業界に提供しております。

(本社)  
〒611-0021 京都府宇治市菟道乙方68番地  
(工場)  
〒611-0013 京都府宇治市菟道池山24番地  
TEL 0774-231-2266  
FAX 0774-201-4666



## 編集後記

・猛暑のなか、汗だくの「丹塗り研修」  
・「文化財修理技術保存連盟 第1回全国研修大会」での熱きディスカッション  
・岩手での「漆掻き実習」  
「ひと」「組織」「原材料」私たちを取巻く要素の大切さを改めて実感した1年。  
そして、会員全員の技術を結集して取り組む「模型製作研修」もいよいよ第2ステージへ。  
これからもどうぞよろしくご協力をお願い致します。  
(Y)

## 社寺建造物美術協議会

本部事務局 新住所  
〒616-8242  
京都市右京区鳴滝本町69-2 (南川面美術研究所内)  
Tel:075-464-0725 Fax:075-464-0099

平成 23 年 10 月より事務局を担当させていただくこととなりました。ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

事務局 伴鈴子